

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 1

NO.183 2021.1.15 発行 TOWN KYOTAMBA

手作りの正月飾りで 新年を迎える



子育て支援センター正月飾り作り

- | | | | | | | | |
|------|-----------------|---------|---------|---------|----|------------|----------|
| 14 | 12 | 10 | 09 | 08 | 05 | 04 | 02 |
| まちの話 | 生涯学習通信 TOMORROW | いきいき健康術 | くらしのガイド | 安心ほっと便り | 表彰 | 2020年を振り返る | 新年のごあいさつ |



議長 梅原好範



京丹波町長 太田昇

町民の皆様、明けましておめでとうございます。令和三年の輝かしい新春をお迎えになりましたこと、心からお喜び申し上げます。

まず、一昨年に発生しました新型コロナウイルス感染症の感染拡大につきまして、町民の皆様には拡大防止に係る取り組みにご協力いただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。また、不確かな情報に惑わされ、差別やいじめなど人権侵害につながるようなことがないよう、正しい情報に基づき、冷静な行動をお願いします。

昨年は、国や京都府の動きと連携するなか、感染症の拡大防止に必要な対策や支援を行うとともに、町民の皆様の健康増進に向けた取り組みを強力に推進してまいりました。また、落ち込んだ地域経

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和三年の輝かしい希望に満ちた新春を迎えられましたことに、謹んでお祝いを申し上げます。新年にあたり、京丹波町議会を代表いたしまして、年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、春前からの新型コロナウイルス感染症の拡大で、私たちの生活は、過去に経験したことのない深刻な状況に陥りました。

本町でも昨三月初旬から五月末まで小中学校が臨時休校となり、四月十六日には政府から全国に向けて「緊急事態宣言」が発出される

濟などへの対応や、子育て世帯への給付金の支給など、影響を受けられた方々への支援を優先的に進めてまいりました。本年につきましても状況の変化を確実に捉え、必要な対策を行ってまいります。

さて、本年は大型事業であります新庁舎と認定こども園の新園舎が、それぞれ八月と六月に完成をいたします。新庁舎については町民の共有財産として、愛され、集い、そして安全・安心を守る要となる庁舎としていくとともに、質の高い住民サービスの提供に向けて運用面についても検討してまいります。新園舎については、次代を担う子どもたちが健やかに安心して成長できるよう、環境を整えてまいります。

町のにぎわいや地域の活性化につながる観光振興では、昨年十月に

など、次から次へと驚くべき対応が求められました。

このような状況の中で人々の移動が制限され、出控えに繋がったことから経済が循環せず、町内でも飲食店をはじめ各種の事業者に深刻な影響が及んでおります。

健康と経済の両立、そして今まで脈々と受け継がれてきた日常生活の継続・継承という難しい課題に対し、本町でも行政と議会が協働し各種の対応を進めておりますが、まだまだ苦しんでおられる皆様のもとに充分には行き届く状況にはありません。今後にも必要な補助事業を行い、コロナ後の明るい生活を見据えて、懸命な取り組みを進めてまいります。

道の駅「京丹波 味夢の里」敷地内に、民間ホテル「フェアフィールド・バイ・マリOTT・京都京丹波」が開業いたしました。この施設が本町の魅力発信の拠点となるよう関係機関とも連携し取り組みを進めてまいります。

また、「映画の町」「映像文化の町」への取組も進めています。昨年十一月にロケスタジオを併設したオープンセットロケ施設が完成しましたので、今後は更にロケの誘致に注力し、事業を通じて映画ファンなど町外からの人の流れを創出し、観光消費の増加や地域の活性化につなげてまいります。

ふるさと納税につきましては、返礼品の充実などにより、前年度を大きく上回る見込みとなっております。ふるさと納税は町のPRや地域の活性化の重要な柱として、引き続きしっかりと取り組んでまいります。これらの取り組みを通じて、関係人口の増加や移住定住につながるよう、一体的に進めてまいりたいと考えております。

一方、皆様に関心をいただいている町ケーブルテレビ事業の民営化

を進めてまいります。

昨年は、幸いにも本町では、痛ましい災害に見舞われることはありませんでしたが、これからはコロナ禍での防災対応や避難所生活対応が重要な課題となり、感染症対応を意識した助け合いの町づくりを進めていく必要性を痛感しております。

本年秋には念願の新庁舎が完成することから、町民の皆様が気持ち良く行政サービスを受けられる庁舎として、また防災拠点としての機能を充分に果たせるように、議会としても努めてまいります。

議会では、初の試みとして、ケーブルテレビを活用した「議会報告会」番組を作成し、昨年十一月末から町民の皆様のもとにお届けしました。住民の皆様からは、概ね好評との評価を頂いたところですが、今後も町民の皆様のご指導をいただきながら、本町の財産であるケーブルテレビなどを有効な手段として活用し、議会からの情報発信を尽くしたいとの思いに迷いはありません。

さて、任期満了を迎える本年の

については、コロナ禍においてリモートワークやオンライン授業などの需要が高まるなか、スピード感を持つて進めるとともに、音声告知放送に代わるスマホなどを活用した防災アプリを構築し、迅速・確実な情報伝達による安心・安全な町づくりに取り組みます。

さらに、昨年取り組みを始めたカーシェアリングについても、地域の生活を支える新たな交通手段として、普及に向けて全力で支援し、持続可能な地域づくりをめざします。

今年の色紙には、多くの人が共通の利益のために心をひとつにして団結するという意味がある「一徳一心」という言葉を書きました。みんなで一致団結し、正しい知識と自覚、行動により、コロナという人類の共通の敵に立ち向かっていきたいと思います。

町民の皆様におかれましては、本町の町政運営に対し、尚一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

色紙には「恩」の文字を選びました。恩とは「人から受ける感謝すべき行為」を意味しており、それは議会議員としてまちづくりに取り組める機会を与えていただいた町民の皆様への感謝。そして、同じ目的を共有しながら互いに切磋琢磨する職員に対する感謝です。その恩を忘れることなく、常に自らを戒めながら全力を尽くす覚悟を「恩」と表したものです。

私たち議会は、町民の皆様方から託された大切な思いを一人ひとりの議員が使命と心得、皆様の日常生活に健全な福祉が行き渡ることで、そして元氣溢れる地域づくりが実現するよう、更なる議会活性化を図ってまいります。町民の皆様には、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年のスタートにあたり、京丹波町の宝であるお子さまから、本町の歴史を大切に繋いでいただいた先輩の皆様までお一人おひとりが、笑顔溢れるお幸せな一年となることを心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

2020年を振り返る

京丹波の主なできごと

1月	12日 ▶ 消防出初式をグリーンランドみずほで開催 12日 ▶ 168人が成人を迎え、山村開発センターみずほで成人式を開催 28日 ▶ 移住定住推進の強化に向けて、町内郵便局と公益社団法人京都府宅地建物取引業協会および公益社団法人全日本不動産協会京都府本部と協定を締結	
2月	25日 ▶ グリーンランドみずほホッケー場に夜間照明が完成	
3月	町の人口減少対策と豊かな暮らしの確保のため、「第2期京丹波町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定 まちの将来を担う子どもたちが、健やかに成長するためのまちづくりを進めるため、「第2期京丹波町子ども・子育て支援事業計画」を策定	
4月	1日 ▶ 新入団員を迎え、京丹波町消防団入退団および役員任命式を開催	
5月	特別定額給付金や休業要請対象事業者支援など新型コロナウイルス関連の支援事業を創設	
6月	新型コロナウイルス対策の一環として、町内在住の保育所や幼稚園に通う3歳児から5歳児などに布製のマスクを配布 新型コロナウイルス感染拡大で落ち込む地域経済の回復をめざして、プレミアム率30%の「スーパープレミアム商品券」を発行	
7月	京丹波町ケーブルテレビの特別番組により、町政懇談会「タウンミーティング」を開催 20日 ▶ 幼保連携型認定こども園の新園舎の建設に向け、須知幼稚園の一部解体が始まる 21日 ▶ 株式会社アールビーズと地域協働事業に関する包括連携協定を締結	
8月	9日 ▶ ばちへの感謝と疫病退散を願って和知太鼓保存会が「ばち供養」を開催	
9月	1日 ▶ 新型コロナウイルス感染症を防止しながら運営できる避難所開設に向け、避難所運営訓練を実施	
10月	1日 ▶ 町営バスに丹波日吉線を新設 8日 ▶ 道の駅「京丹波 味夢の里」隣接地にホテルが開業 15日 ▶ 京丹波町がスマート農業の普及展開、ラジコン草刈機を導入	
11月	4日 ▶ 誰もが安心して暮らせるまちづくりに向け、京丹波町国際交流協会と連携協定を締結 29日 ▶ 原子力防災訓練を実施	
12月	5日 ▶ 人権講演会を和知ふれあいセンターで開催	

〔1月〕成人式で集合写真（山村開発センターみずほ）

〔6月〕布製のマスクを配布（わちエンジェル）

〔7月〕特別番組でタウンミーティングを放送

京丹波町ケーブルテレビ事業の民営化へ第一歩

円滑な民営化に向けて

12月4日、京丹波町ケーブルテレビ民営化推進事業に関する基本合意書に、太田昇町長と株式会社ZTVの田村欣也社長が署名しました。

京丹波町ケーブルテレビ事業については、急速な情報化が進む中で、住民生活の利便性向上や地域産業の振興などへの対応として、通信環境などの改善が必要となってきたことから、京丹波町ケーブルテレビ事業のあり方に関する審議会を設置し、検討を進めました。

令和元年11月には、審議会（梅原好範会長）から、民営化へ移行することが妥当であると答申が行われました。この答申を受け、民営化の早期実現に向けて推進することとし、昨年9月に民間から事業提案を募り、提案があった3社の中から株式会社ZTVが優先交渉権

を獲得しました。

同社は、三重県に本社を置き滋賀県や和歌山県でケーブルテレビ事業を手掛けています。提案では、地上デジタル放送のテレビ利用料を1540円（税込み）に、インターネット利用料については、100メガ1980円（税込み）とし、100メガから最大10ギガまで選択ができるようになるなどの内容となっています。

また、現在の自主放送番組も継続して放送できるほか、移行に係る負担が加入者にかからないようにしています。

田村社長は「京都府での事業展開は初めて。期待にそえるよう全力でがんばり、貢献していきたい」と話し、太田町長は「都会並みの通信環境となり、移住定住に係る障害が排除される。また、コロナ禍でリモートワークやオンライン学習など利



基本合意書に調印した太田町長とZTVの田村社長

減塩の取り組みが評価される

京丹波町が自治体部門で 厚生労働省健康局長優良賞

国民の健康寿命の延伸につながる取り組みを表彰する、厚生労働省の「第9回健康寿命をのばそう！アワード」において、京丹波町の「尿中塩分測定結果を活用した慢性腎臓病対策における5年間の保健活動評価」の取り組みが、厚生労働省健康局長の自治体部門で優良賞に選ばれました。

町では、腎臓と深い関係のある高血圧予防のための減塩対策として、平成26年度に個人の塩分摂取量を明確化するため、住民健診において尿中の推計塩分量を測定し、5年間の取り組みの評価を行うため、令和元年度において再度実施しました。この5年の間には、高血圧の方などのハイリスク者を対象に塩分摂取量簡易測定器を貸し出したり、乳幼児を持つ両親や小学生などの塩分測定を実施したりするなど、ハイリスク者から若い世代と幅広く減塩を意識するきっかけづくりに取り組むなど、継続した事業を行ってきました。

また、体内の塩分を効率よく排出することができるカリウムに着目し、カリウムを多く含む果物などの摂取を推奨してきました。その結果、5年前と比較すると男女ともにナトリウムカリウム比が改善しただけでなく女性の塩分摂取量も改善しました。果物などの摂取の推奨は住民の意識づけや行動変容を促し、減塩にも改善の効果があるとの有意義な成果を得ました。

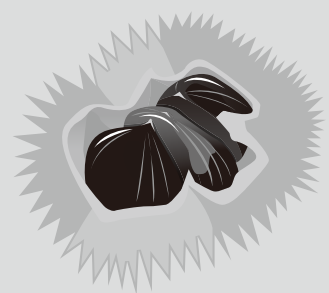
今回の評価を生かし、今後も考察に基づく保健事業の実施に継続して取り組みます。



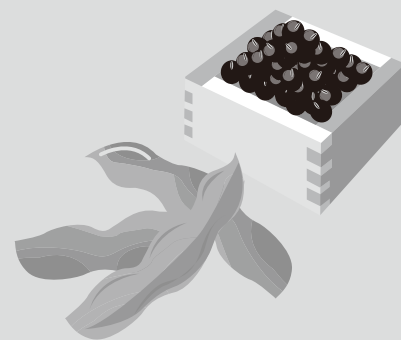
減塩の取り組みに向けて意気込む保健師と栄養士



Zoomで行われた授賞式



農地を守り 受け継ぐ



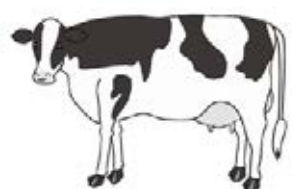
多年にわたり、京都府内の農林水産業や農山漁村の振興と発展に貢献した個人や団体に贈られる京都府農林水産業功労者と、農林水産業の経営改善に意欲的に取り組む若手農林漁業者の表彰が11月28日、京都市内で開催され、5人1団体が表彰されました



若手農林漁業者表彰

表彰
村上 和也さん

村上さんは、町内にある食肉販売業「いづつ屋」の自社牧場である丹波清光ファームで、牧場リーダーとして勤務されています。高度な肥育技術で出荷牛の品質を向上させるだけでなく、より安全安心な牛肉を食卓に届けるため、食品の安全性を向上させるための国際基準「HACCP」の考えを畜産農場に取り入れた農場HACCPの取得に精力的に取り組まれ、昨年2月、京都府で肉用牛農場としては初となる農場HACCPを取得されるなど意欲的に取り組まれています。



令和2年度 京都府農林水産業功労者表彰等授与式

京都府農林水産業功労者表彰 京都府農山漁村伝承優秀技能認定 京都府若手農林漁業者表彰



後列左から村上さん、樋口さん夫婦、谷山さんと孫2人、大西農林振興課長、前列左から梅原さん夫婦、上田さん夫婦、新田さん

新開発・新規事業 開拓等の部門

表彰
上田 正さん

上田さんは労を惜しまぬていねいな手法で瑞穂大納言小豆を栽培され、町の品評会において毎年上位に入賞されています。また、その生産技術が高く評価され、優良な種子を次代につないでいくための採種を担うなど、農業の振興と発展に貢献されました。



経営成果の部門

表彰
株式会社新田農園
(新田尚志代表取締役)

新田農園は、紫ずきんをはじめ枝豆の複数品種を計画的に生産し、枝豆の長期出荷を可能にする先駆的な取り組みを進められ、省力化設備を導入するなど、効率的な生産や加工、流通に努められ、農業の振興と発展に貢献されました。

表彰
梅原 眞さん

梅原さんは、地域の中心的な担い手として、営農組合を立ち上げ、地域農業をけん引するとともに、自らも農業経営に取り組み、地域の特産品である丹波くりの栽培に熱心に取り組むなど、農業の振興と発展に貢献されました。

地域活性化の部門

表彰
谷山 建夫さん

谷山さんは、集落と農地を守るため、農事組合法人の設立に尽力されました。また、地域特産品の生産に取り組むとともに、都市住民との交流として、農作業体験やボランティアの受け入れなど、積極的な活動を通じて地域の活性化に貢献されました。

農林水産業各分野の 振興の部門

表彰
樋口 義昭さん

丹波森林組合代表理事組合長の樋口さんは、多年にわたり同組合の役員を務められ、搬出間伐や育成天然林の整備を進めるとともに、循環する山の仕組みづくりに取り組むなど、団体の発展と林業の振興に貢献されました。



＼お試し／のつもりで 購入しようとしているその商品 実は＼定期購入／ではありませんか？

通信販売（インターネットやテレビショッピングなど）で「お試しで注文したつもりなのに、商品が定期的に送られてくる」といった相談が寄せられています。

広告の『定期コースで購入の場合に限り』初回無料などの販売条件の記載を見落としていたケース、初めから定期購入が前提となっていて、注文時に申し出ないと同じ商品が自動的に送られるようになっていたケースなどがあります。

定期購入にすると、ほとんどの場合は値引きされることから、広告では「値引き」部分の説明が強調され、定期購入の説明部分は小さく見えにくい場所に表示されていることも少なくありません。そのため、定期購入を理解しないまま契約してしまうトラブルが多発しています。

通信販売はクーリング・オフができません。「返品ができるか」、「返品できる場合の送料負担」、「返品できる期間」などの返品の条件は販売会社が定めた「返品特約」に従うことになります。（返品についての表示がない場合は、商品を受け取った日から8日以内に、消費者が送料を負担して返品することができます。）

通信販売を利用する際には、注文する前に契約内容、返品特約を必ず確認してください。また、商品を受け取ったら、商品に同梱されている書類などもよく確認しましょう。

困ったときは、消費生活相談窓口にご相談ください。

広告イメージ（ホームページやSNS等）



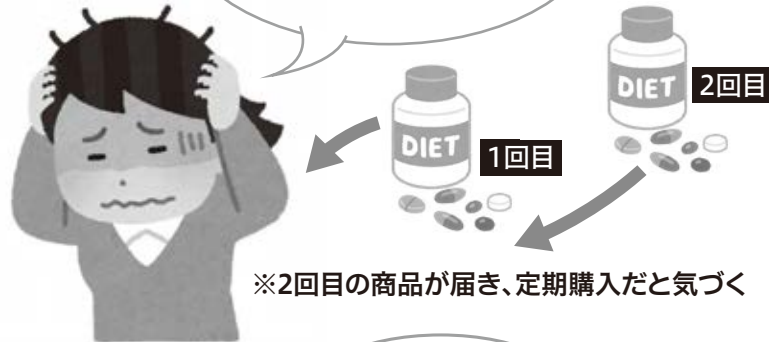
1回目
無料!! (送料500円のみ)

2回目 特別価格
20%OFF 4,000円!
(送料無料)

いますぐ注文する

※5ヶ月以上の購入が条件です

- 1回だけのつもり
- 定期購入した覚えはない
- 2回目はいらない
- 500円しか払いたくない



定期購入が条件と
記載してある

途中でやめるなら
1回目の通常価格と送料
2回目も通常価格と送料を
支払って欲しい



一人で悩まず、
気軽に相談して
ください。

『消費生活相談窓口』 京丹波町では、消費生活に関する相談や情報提供をお受けしています。

消費生活に関する連絡・相談先 ※メールでの相談はお受けしていません。

京丹波町消費生活相談窓口

電話：0771-82-3803

相談日：水・木曜日

南丹市商工課内

電話：0771-68-0100

相談日：月・火・金曜日



安心ほっと便り

京丹波町の「安全・安心まちづくり」を支援している
関西大学社会安全学部の取り組みを随時お伝えします

関西大学
社会安全学部

Series 15

ふるさとの写真を撮影して防災につなげよう

11月15日、質美地域のこどもたちと、ふるさと写真交流会をおこないました。ふるさとの何気ない景色をこどもたちに撮影してもらい、未来の防災、将来のまちづくりについて思いをはせるきっかけにします。すてきな写真がたくさん集まりました。旧質美小学校で展示したいと考えています。



ステイホームであっても楽しく学べる動画コンテンツを制作して、ゼミのHPで公開しています。

「60秒で学べる防災の芽」シリーズは、防災に関する知恵と工夫、アイデアを短い動画で紹介しています。

<http://kondoseiji.main.jp/movie/>



近藤ゼミの「動画教材ウェブサイト」では、短くまとめたコンテンツを 130 本ほど公開しています。京丹波ケーブルテレビで放映された関大生が出演する防災動画を見逃したかたは、こちらのページから視聴できます。

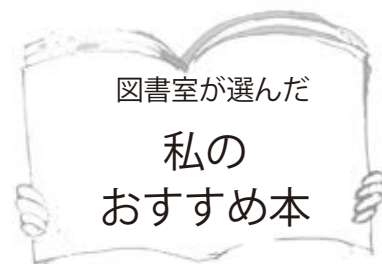
「こんにちは赤ちゃん」 コーナー 申し込み募集

〈対象者〉

町内在住で、申し込み時に
生後1歳未満のお子さま
〈申込方法〉お子さまの顔写
真に申込書を添えて、役場
または支所まで、持参・郵
送・メールのいずれかで届
けてください。申込書は役場
本庁、支所、瑞穂保健福祉
センターにあります。

【問】

京丹波町企画財政課
電話 0771-82-3801
Eメール
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp



風来坊シリーズのなかの一冊。

なんでもするからめしを食べ
せてくださいと、たまたまばあ
さん宅に立ち寄った「風来坊」。ばあ
さんは近所からは「かみなりばば」
と呼ばれるやっかいもの。でも、
ばあさんは最初から「かみなりば
ば」だったわけではない。

さて「かみなりばば」はどうして「おはなしばあさん」にもどっ
たのかな。昭和の映画全盛期のシーンを思い起こさせる風来坊シリ
ーズをお楽しみください。

質美公民館（質美振興センター）図書室 中西 陽子



なかにし ようこ

図書室のご案内

開室日	開室日	日	月	火	水	木	金	土
中央公民館図書室 電話 0771-82-0988				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時
桧山公民館(山村開発センター)図書室 電話 0771-88-0506		14時～17時			14時～17時	14時～17時	14時～17時	第2、第4土 13時～17時
梅田公民館(旧梅田保育所)図書室				第1、第3火 9時～13時				第1、第3土 9時～13時
三ノ宮公民館(三ノ宮基幹集落センター) 図書室				第2、第4火 13時～17時				第2、第4土 13時～17時
質美公民館(質美振興センター) 図書室				第2、第4火 13時30分～ 17時30分				第2、第4土 13時～17時
和知公民館(和知ふれあいセンター)図書室 電話 0771-84-2081				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時

貸出期間 2週間 貸出冊数 1人1回5冊まで



いきいき健康術 第162回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『新型コロナウイルスのワクチンはすごい!?!』

ほしの あつし

星野 温 医師(京都府立医科大学 循環器内科 助教)
国保京丹波町病院 毎週火曜日の内科一般外来担当



2020年は一年を通して新型コロナウイルスでもち
きりでしたが、2021年はどうなるでしょうか？ワク
チン接種も始まり治療薬も出てき始めましたので何とか
終息の方向へ進んでくれればと期待します。そこで今
回はワクチンの話を取り上げたいと思います。

昨年12月から世界ではRNAワクチンと呼ばれるも
のの接種が始まっています。このような形状のワクチ
ンは今までになく今回初めて使用されるタイプのワク
チンになります。臨床試験結果が出るまではその効果
に懐疑的な人が多かったですが、実際に報告された有
効性は圧倒的で正直なところ専門家も含め多くの人
が驚きました。少し難しい話になりますが、ウイルスや
ヒトの細胞を構成するタンパク質はDNA※1やRNA※2
からなる遺伝子を基に合成されます。従来のワクチン
はタンパク質を投与することで免疫をつけていました
が、今回はDNAやRNAを投与して、ヒトの細胞でウイ
ルスのタンパク質を作らせることで免疫を誘導してい
ます。そのため今回のワクチンは遺伝子ワクチンと呼
ばれたりもします。タンパク質を合成して製剤化するよ

りDNAやRNAを製剤化の方が簡単なので開発期
間も短くなります。一方で今まではDNAやRNAを効
率よくヒトの細胞に運ぶことが難しかったため実用化
されていませんでした。RNAに関しては脂肪に包むこ
とで細胞に取り込ませやすくし、DNAに関しては無害
なウイルスに組み込んで細胞に感染させることで細胞
の中に運んでいます。いずれの方法も生物学の研究で
は一般的に使われている方法で、予想外の副作用を心
配する声もありますが、個人的には従来の不活化ワク
チンと同等以上の安全性があり、今後は特にこの
RNAワクチンが他の感染症の予防接種にも採用され
ていくのではと予想しています。また安全性とは別の
問題としてワクチンに対して耐性を持つウイルスの出
現があります。耐性ウイルスは今後近いうちに出現す
ると予想しますが、RNAワクチンの場合は耐性ウイ
ルスに対応する事が比較的簡単にできる利点もあり、現
時点ではその圧倒的な効果と合わせてとても素晴らし
いワクチンのプラットフォームが登場したと感じてい
ます。

いかがでしょうか。最後に、ウイルス感染予防には正
しい方法でこまめに手洗い、うがいを行うことがとても
大切ですので、ご注意ください。

※1 DNA

核酸の一種で遺伝情報の継承と発現を担う高分子生体物質

※2 RNA

リボースと呼ぶ糖を含む核酸

教育長 新春のごあいさつ

京丹波町教育委員会教育長 樹山 静雄

新年明けましておめでとうございます。令和3年の新春をお健やかに迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、世界中で新型コロナウイルス感染症が拡がり、その感染拡大防止の対策に注力してきた1年でした。今なお、国内外での感染状況から緊張感をもって長期的な対応が求められているところです。

こうした中で、町内の学校・園におきましては、感染およびその拡大を防ぐ対策を講じながら、子どもたちの豊かな学びの機会を保障していく努力を重ねてきました。卒業（園）式・入学（園）式をはじめ、運動会・体育祭、文化祭・学習発表会などの大きな行事では「3密回避」「マスク着用」「手洗い・消毒」「人との間隔の確保」などの感染症対策の徹底、活動内容や時間短縮など、さまざまな工夫をし、可能な限り楽しみながら成果が上がるよ

う取り組みました。困難な状況を何とか乗り越えようと発想を転換し、子どもたちや先生方、そしてPTA役員さんとともに知恵を出し合って行事を創り上げられた点で大きな意義があったと思います。

また、卒業学年の児童生徒が楽しみにしていた修学旅行は例年の時期とは異なりましたが、町内全校で何とか実施することができてよかったと思います。こうした学校・園の計画した教育活動が実施できましたのも保護者やご家庭の皆様方のご理解とご協力、さらには地域の方々温かいサポートの賜物と心より感謝申し上げます。

ところで、昨年末12月8日の「はやぶさ2」の帰還は、多くの人々に夢と希望、そして勇気や元気を与えてくれました。この「はやぶさ2」は日本が世界に誇る小惑星探査機で、地球から遠く離れた小惑星「リュウグウ」に行つて

試料を採取し持ち帰るというサンプルリターンを成し遂げました。一大プロジェクトを推進されたはやぶさ2プロジェクトマネージャーである津田雄一（つだ ゆういち）JAXA教授は、6年間約52億kmに及ぶ旅を終え、無事ほぼ完璧に地球に届けられたカプセルを「玉手箱が舞い降りた」と表現されています。この玉手箱の中にはリュウグウで採取された物質とともに、このプロジェクトを成し遂げた関係者をはじめ多くのサポーターの熱い思いがいつばい詰まっていることでしょう。本町の子どもたちも、このようなたゆまぬ努

力とチャレンジ精神を基盤に、心躍る感動を体感できる人生を送ってほしいと思います。

今年は、丑年。感染防止の対策を講じながら、学校教育も社会教育も文化・スポーツ活動も可能な限り取り組み、牛歩の如く確実な一歩を積み重ねていきたいと考えていますので、町民の皆様方のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



オリンピック・パラリンピック 教育推進校 和知中学校の取組



広報紙9月号で紹介しましたオリンピック・パラリンピック教育について、今回は、和知中学校の取り組みを紹介いたします。

障害者の理解や共生社会について学ぶことを目的としたオリンピック・パラリンピック教育推進事業が11

月23日、和知中学校体育館で開催されました。手話グループの歌や劇などのパフォーマンスやワークショップを通じて、聴覚障害者といっても聞こえ方は人それぞれ違うこと、手話によるコミュニケーションの取り方や手話の特徴などについて、親子で学ぶ機会となりました。その中で、聴覚に障害があることで苦労や不安な思いをした自身の経験から、コミュニケーションは相手に伝える気持ちが大切であることや、今抱えている不安や悩みがあれば、打ち明ける勇気を持つことが解決の一歩になることなどを伝えられ、生徒らは熱心に話を聞いていました。

中学生の感想

手話や手話サークルに前から興味があって、今日皆さんと手話をしたり、話を聞いたりしてもっと興味がわきました。耳が聞こえる聞こえないとか関係なく、これから手話を学んでいきたいと思いました。それと、コミュニケーションをとる時、「表情」を大切にしたいです。また、「自分が行動しなければ、何も変わらない。」このこともしっかりと覚えておきたいです。

「みんなと違う」と自分を閉ざしてしまうことが一番苦しく辛いことなんだと学びました。「人それぞれ」という言葉や皆さんの楽しそうな笑顔にとても勇気をもらいました。最初は、はずかしくて小さかった手話も時間がたつと、「もっともっと伝えるように」と思いながらできました。

京丹波町 ホッケー教室

東京オリンピック日本代表候補選手の中健太選手と川菜選手を講師として招き、ホッケーの楽しさを味わうことや競技力の向上を目的とした京丹波町ホッケー教室が12月12日、グリーンランドみずほホッケー場で開催されました。今回のホッケー教室は、午前の部に町内小中学生とその指導者67人と午後の部に町内高校生や社会人など29人が参加し、スティックや体の動かし方、人の動きやパスコースの読み方など、講師自らが手本を示しながら、いろいろな練習が行われまし

た。午前の部の最後には、講師・指導者チームが小学生や中学生のチームそれぞれと対戦するミニゲームが行われ、子どもたちは、日本代表候補選手と一緒にホッケーができる喜びを感じながら、ホッケーを楽しみました。

講師からは、「練習してできるようになる喜びや楽しさを味わってほしい。日本代表選手を目指してがんばろう。」と熱いメッセージが投げかけられました。



参加した小中学生の感想

いつもと違う練習を数多く教えてもらって楽しかった。

今日の練習で苦手なことが見つかったので、これから練習して苦手なことを克服していきたい。

防災意識を高める

原子力防災訓練

11月29日、福井県の原子力災害を想定した京都府の主導による原子力総合防災訓練が行われました。高浜発電所から約30^キ圏内の緊急防護措置区域（UPZ）にある和知地区の本庄区の避難を想定して、避難退域時の検査場所となった福知山市の三段池公園までバスで避難しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため住民は参加せずに、町消防団と京都府や関係市町の職員のみで行われ、避難所の開設や感

染の疑いのある人への対応方法などを確認しました。

訓練では、発熱者や体調不良者など感染の疑いある人とうでない人で避難先やバスを区別して行われ、保健師による問診を受けた住民は、安定ヨウ素剤代わりの飴を受け取り、バスに乗り込み三段池公園に避難しました。

同公園では、園内に設置されたテントで放射性物質の有無を調べるゲートを通るなどの検査を受けました。

訓練アドバイザーの南丹保健所の西邑公子さんは「原発事故の避



力を合わせ大しめ縄をなう住民ら

コロナ収束の思いを込めて

京都祇園八坂神社本殿の大しめ縄作り

下山地内の尾長野区で12月13日、地区住民による京都祇園八坂神社に奉納する大しめ縄作りが行われました。

この取り組みは、同神社の分社と神撰田がある尾長野区で50年前から毎年行われているもので、神撰田や地元の田で収穫した稲わらを使って奉納するしめ縄が作られます。

ストなどで飾り付け、パネルが作成されました。

残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大により、急遽、合宿が中止となりましたが、12月1日から28日までの間、京都トレーニングセンターでパネルが展示されることとなりました。

パネルの作成に携わった和知小学校の田中敏夫校長は「それぞれ学校の個性があるパネルに仕上がりに、この取り組みを通して5小学校の児童らの心を一つにつなげることができた。児童らの思いが届きますように」とパネルに込めた思いを話しました。

座には11人が参加し、自身の体の状態を把握する体力測定や、健康増進を目的とした栄養講習、運動を継続して行うためのメンタル講習を受けました。

また、京都トレーニングセンターのトレーニング機器の使用方法和自宅で簡単にできるトレーニングなどの講習も受けました。

参加した山内奈保子さん（須知）は「自分が思っていたより体が動い

難であっても場合によっては、コロナの受診を優先できることが想定され、受診を促すなどの対応ができる場合があり、今後考えていく必要がある」と訓練を振り返りました。



特別避難所で受付や問診をする町職員

この日は、住民ら25人が集まり、長さ3×3.5^{メートル}、大しめ縄3本を含む16本のしめ縄を、新型コロナウイルスの収束の思いを強く込め、力を合わせ作り上げました。

尾長野区長の田中宏明さんは「新型コロナウイルスが二日でも早く収束し、全国で元氣を取り戻してほしい」としめ縄に込めた思いを話しました。

今回作られたしめ縄の内11本は、12月26日に京都祇園八坂神社へ奉納されました。

展示終了後は、日本車いすバスケットボール連盟へ送付し、選手に披露していただく予定をしています。



熱い思いがこもった応援メッセージパネル

てよかった。この体力を維持していきたい」と健康への意識を高めていました。



サポート講座の様子



人権と差別について話す渡辺さん

思いやる心を尊重する

人権講演会

京丹波町人権啓発推進協議会と京丹波町、町教育委員会が主催する人権講演会が12月5日、和知ふれあいセンターで行われ、約100人が参加しました。

講師に論文発表や執筆活動、ラジオ放送を通して、全国的に活躍されている日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員の渡辺哲雄^{わたなべてつお}さんを招き、「人権と差別く新型コロナウイルスに関連して」と題して、講演が行われました。

講演では、人権とは「相手の意思を尊重し、思いやる心が大切で、差別はその人の意思が不合理に制限を受けることだが、時代や地域で変わってくる」と話されました。

また、新型コロナウイルス感染症については「不安がついてまわるが、

自分の言動に合理性があるかないかを確認することで、正しい判断ができる」と話され、参加者は人権に関する理解を深めていました。

人の動き

（敬称略）

人権擁護委員

（委嘱期間）令和3年1月1日から令和5年12月31日まで

谷口 誠（新任）・林 啓治（再任）

ふるさと応援寄付金のお礼

*敬称略

谷山 賢治	13万円	相羽 毅一郎	1万2千円
片山 山治	10万円	山本 裕	1万2千円
福田 有子	8万円	濱野 優子	1万2千円
吉田 良二	6万円	岡田 和也	1万2千円
山口 裕和	3万円	山口 真知	1万円
佐竹 壽夫	3万円	松永 俊昭	1万円
江口 光昭	2万円	澤田 雅美	1万円
鶴田 瑞雄	1万4千円	山内 巖	1万円

*掲載内容は寄付者の了解を得ています

編集後記

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。 HB

わたしたちの町

人口	13,616（－18）
男	6,480（－11）
女	7,136（－7）
世帯数	6,244（＋4）
1月1日現在／（ ）は前月比	

給食で地産地消

瑞穂小学校で味夢くんランチ

11月20日、瑞穂小学校で地元の食材をふんだんに使った「味夢くんランチ」が給食で出されました。



笑顔で給食を食べる児童

瑞穂小学校では、年に2回、地産地消を推進する日として、ほぼすべての食材を京丹波で育てられた野菜や肉などを使用して、給食を調理されています。

今回は、町内で生産された白菜やにんじん、ほうれん草などの野菜のほか、豚肉やはたけしめじ、野菜オイルなどを使って、「丹波の森ごはん(炊き込みごはん)」、「かぶの和風マリネ」、「豚汁」が味夢くんランチとして調理されました。

6年の橘夏実さんは「地元食材だから安心して食べられる。おいしかった」と笑顔で話しました。

交通事故を防止

反射タスキを贈呈

年末の交通事故防止府民運動に合わせて、南丹船井交通安全協会から、日没が早い冬の下校時や霧で視界が悪くなる朝の登校時の交通事故防止に役立ててもらおうと、蒲生野中学校と和知中学校に反射材の付いたタスキが贈られました。

蒲生野中学校では12月1日に

贈呈式が行われ、生徒らは事故防止のため贈られたタスキを身に着けて下校しました。

生徒を代表してタスキを受け取った生徒会長の村山智紀さんは、「タスキを身に着けることで、自分の命だけでなくドライバーの命も守ることにつながる。いただいたタスキは今後の生活で活用していきたい」と話しました。



タスキをかけて下校する生徒ら



味夢くんランチ

絵本に親しむ

セ カンドブック事業

町教育委員会が本に親しみを感ずってもらうことで町内図書館の利用の増加につなげようと、町内の小学一年生に本をプレゼントしました。12月14日には下山小学校で本の贈呈式が行われ、ブランドンサンタ(町スポーツ国際交流員ブランドン・ハリソン)が、児童一人ひとりに本を手渡しました。

また、ブランドンサンタや公民館図書室職員による読み聞かせが行われ、子どもたちは、絵本の世界に入り込み、楽しい時間を過ごしました。



絵本を楽しむ児童ら